

開催日時：平成20年7月25日（金） 10：00～12：30

場 所：大阪府立文化情報センター さいかくホール

出席委員：池淵委員長, 井野瀬委員, 弘本委員, 堀野委員, 山下委員

## 1. 議 題

- (1) 議事概要確認
- (2) 河川整備委員会審議スケジュール（案）について
- (3) 一級河川淀川水系神崎川下流ブロック流域の概要について

## 2. 概 要

○議事概要確認

**（まとめ）**

前回委員会議事概要（案）について確認した。委員会の了解を得て、議事概要となり、ホームページに掲載することとなった。

○河川整備委員会審議スケジュール（案）について

**（まとめ）**

河川整備委員会審議スケジュール（案）について説明した。委員会での指摘事項を踏まえ、河川整備委員会審議スケジュールをホームページに掲載することとなった。

**（委 員）河川の位置図と対応する形で示してほしい。**

（事務局）位置図など河川名がわかる形で掲載する。

**（委 員）変更の河川については、主に耐震の事業を追加するということか。**

（事務局）基本的には耐震事業の追加である。

**（委 員）審議スケジュールについて了解とする。**

○一級河川淀川水系神崎川下流ブロック流域の概要について

(まとめ)

一級河川淀川水系神崎川下流ブロック流域の概要・治水の現状と課題について説明した。委員会での指摘事項を踏まえ、引き続き審議することとなった。

- (委員) 資料整備について、河川整備に関係する項目のみをピックアップして説明してほしい。
- (委員) 統計データ等、その背後にある質的な内容の高度分析を検討しないと、人と川とのつながりを描くのが難しいので、検討してほしい。
- (委員) 高度経済成長時の公害経験やそこからの再生などを環境履歴、地域史として位置づけるべき。
- (委員) 昆虫・両生類・爬虫類・哺乳類等について確認できないとの記載になっているが、過去の公害被害など大きな環境負荷を経験してきたため、非常に多くの専門家やまちづくりの活動団体が自然環境の調査を行っている地域であるので、記載すべき。
- (事務局) 再調査し、記載する事項や調査内容の分析範囲を検討の上、記載を行う。
- (委員) 高い防潮堤や道路など環境と隔絶的なこの地域では、防災船着場など、防災的なまちの整備により川を住民に身近なものとする必要があるのではないか。
- (委員) 全体計画の前提条件等について説明してほしい。
- (委員) 全体計画の流量配分図において、対象河川の名前を入れるべきではないか。
- (委員) 今の通水能力を考えると、余裕高を考慮することで対応可能ではないか。浚渫を行うのであれば、理由を説明すべき。
- (委員) 左右岸で管理府県が違うが、浚渫について事業は同時に行っているのか。
- (事務局) 工事はそれぞれ行っているが、時期については調整を行い実施している。
- (委員) 防潮堤の沈下や嵩上げ等について、詳細な内容を示してほしい。
- (委員) 撤退した工場跡の土壌などについて、検討は必要ないのか。
- (委員) 防潮堤については、大阪湾全体の計画と整合しているのか。
- (事務局) 大阪湾全体をとらえて高さを設定している。
- (委員) 今回の指摘事項を踏まえ、引き続き審議をつづけることとする。